

十文字・塚原・日出生台・由布院見学

かねて会員から要望のあつた実地見学、現地研修の第一回を左の通り挙行し、予期以上の成果を収め大成功裡に散会した。

一、期 日 十月十三日(日)

一、会 費 大人五百円、学生・児童三百五十円

一、見学コース

大分発八時半

大分駅の歴史―産業道路―松平忠直墓―浜の市―笠縫島―

白木(安部氏と竜雲寺)―仏崎―高崎城―猿の伝説―瓜生

島と久光島―両郡橋―浜ノ浜(別府の発祥、断層崖)―別

九時発

府港―北浜(国際観光会館)―流川(井上聞多と若松屋、

伊能忠敬測量記念碑)―ケールブルラクテンチ―自衛隊―京

大地震研究所―天皇と別府―観海寺―立石―石垣原と実相

寺山―扇山―百合若伝説と次郎、太郎塚―鉄輪温泉(一遍

上人、地獄温泉植物園)―石垣庄地頭竈門氏居城―明礬(

下車(十五分)

森藩領)―湯山―十文字原(陸軍演習場、テレビ塔、展望

下車(十五分)

台)―塚原(温泉、古戦場、塚と古墳、霧島神社と甘酒祭  
由布山の崩壊、種畜場の発祥地)日出生台(飛行場、千足

塚、深見ダム、日出生台、ダム)―小野原下車、昼食(一

時間半)午後一時半出發

日出生台の景観、歴史、伝説、植物―由布院ダム―横断道

路―仏光寺六地藏塔―町役場―キリシタン墓―怒留湯氏―

自衛隊―金鱗湖―挾間氏戦死の地―式間殿(宇奈伎比売社

)―天然記念物大杉―挾霧台―由布登山口―猪ノ瀬戸―城

島原―鳥居(火男火売神社)―志高湖―鶴見登山ケ―ブル

乗口―観光道路―堀田温泉―鐘突松

別府着五時半 大分着六時

参加者名簿

(大分四十一名)

上田 保 辛島 詢士 一法師弘喜 安東凌外一名

二宮 好雄 橋本 富夫外一名(中学生) 中尾 勇

ク ノブ ク チエ 麻生 馨 佐藤 鬼熊

藤井 幸良 高山千代男 大西 英子 北村 清士

平つら外一名 学生 六名 立川 輝信 富来 隆

高山 虔三 中野 幡能 渡辺澄夫外二名 安部 巖  
 眞部 英雄 佐藤 幸雄 中村滋子 外五名(学生)  
 別府(一五名)

兼子 俊一 井上三十四 出田 節雄 安部 巖  
 後藤 武夫 水口 忠孝 大隈 米陽 河野 泰彦  
 永松 照政 外三名 三宮 好雄氏 知人 生駒 照彦  
 栗林 定

説明者

大分県地方史研究会

常任委員長	大分大教授	渡	辺	澄	夫
常任委員	大分大教授	兼	子	俊	一
常任委員	大分大教授	富	来	隆	
常任委員	芸大教授	中	野	幡	能
常任委員	辛島病院長医博	辛	島	詢	士
常任委員	高山印刷社長	高	山	虔	三
常任委員		立	川	輝	信
委員		安	部	巖	

其の他

当日大分組は予定通り大分交通貸切バスで、駅前終点を出発、車中で沿道の説明と観光別府の国際観光会館前で別府組を加え、安部委員解説の間沿道別府関係のプリント配布、途中安部巖、後藤武夫両氏の名調子説明を聞きつつ十文字原着、別府湾と四国の展望をほしきままにして、再び車中の人となり、予定のコースを通つて日出生台・小野原着、同地小学校で昼食、玖珠町教育委員会幹旋による同地婦人会の誠意ある待遇を受け、辛島詢士日出生台高原の植物に就て、委員長渡辺博士の同地方史の講談あり、新設のダムと高原美の景観を満喫して帰途に着、予定コースの由布院、城島、志高湖、別府を経て一同無事、異口同音に今後年何回か、会の定例行事として挙行するよう要望した。